

# 飢餓対策ニュース

わたしから始める、世界が変わる



フィリピン バルナバプロジェクト P.4-5

## あらたな一步を踏み出そう

日本国際飢餓対策機構 評議員 安達隆夫

3月18日から22日までフィリピン・ビコールのスラのバービン小学校を訪問しました。今回で4回目の訪問となりますが、最初の訪問のきっかけは、2013年11月フィリピン中部を襲った大型台風『ヨランダ』でした。死者7000人以上、倒壊家屋50万戸という恐るべき被害の様子をテレビで見ながら、ふと「自分にできることは何かないのか」と考えました。このような災害のたびに考えるのですが、具体的に何をすればよいのか分からず、結局何もせずに終わることを繰り返していました。そして今回も同様に終わろうとしていた矢先、ある映画を見ました。それは『僕たちは世界を変えることができない』というタイトルで日々の生活に物足りなさを感じていた一人の大学生が友人と協力して150万円でカンボジアに学校を建てるために奔走するといった内容なのですが、私は同じことをフィリピンでやろうと思ったのです。

すぐに教会のメンバーに話しましたが、誰も本気にしません。おそらく「そんなことできるはずがない」と思ったのでしょう。私にもできるという確信はありませんでしたが、とにかく始めてみなくては分からないじゃないかと学生たちと共にフィリピンに行ったのです。彼らも最初は乗り気ではありませんでしたが、被災地を見て心が動かされ、なんとわ

ずか一年後に最初の校舎の建設資金を作ったのです。翌年には二つ目の校舎が完成し、今年の夏には別の小学校に図書館ができる予定です。なぜ、このように次々と建設できたのか。彼らは決して裕福ではありませんし、人数もそれほど多いわけではありません。それでもできたのは勇気をもって一歩踏み出したからです。もし最初の一步を躊躇していたら、未だに「何かできないかな」と言ってるでしょう。世界を変えるためには行動あるのみです。何ができるか、どこまでできるかは分からないし、足りないものを数え上げたらキリがありませんが、一歩を踏み出すことで世界は変わり始めるのです。

メンバーの一人が言いました。「世界にはなぜ貧富の差があるのか、神様がいるならどうしてそれを許しておられるのか分からなかったが、フィリピンに行って答えが出た。それは持てる者が持たない者に与えるため、分かち合うためののだ」と。分かち合うこと、愛し合うことを通してこの世界は変わっていくのだ、変えられるのだと気付いたのです。

さあ一歩踏み出しましょう。

Change myself, change the world.

(わたしから始める、世界が変わる)



パキスタン  
コミュニティ  
自立開発支援

## 人々の生活向上をめざして

Women's Christian Hospital in Multan スタッフ 水上京美

2013年から、パキスタン パンジャブ州のB地区を中心に働き始め、5年が経過しました。12人のパキスタン人スタッフと医療と教育を通して、働いています。皆様のご支援を心より感謝いたします。

子どもを産むことが、女性の最も大切な役割と考えられているこの国で、人々は産婦人科の適正な医療サービスを求めています。しかし現実には、不適切な不妊治療や、必要のない帝王切開が、医療従事者の都合で行われています。そのような社会状況の中で、無駄な費用をかけない、患者のための医療を目指して働いています。妊娠しない、何度も流産してしまうといった問題で、多くの女性たち

が私たちのクリニックにやってきます。子どもが産めなければ、離婚または重婚すると夫に言われる女性は少なくないです。そのような女性たちの話を聴くことも、重要な役割です。実際クリニックには、高度な医療機器はありませんし、基本的な治療しか行っていないですが、何年も妊娠しなかった人が妊娠し、子どもを出産しています。

女性に教育を受けさせることを良しとしない、女性が自由に外で働けないという社会背景の中で、女性のための識字教室と、職業訓練(裁縫教室)を行っています。

### 手工芸品販売を企画中

現在、裁縫教室(写真⑤)では

パキスタン国内、または海外で販売する商品企画を検討中です。今製作中なのは、エコバッグ、旅行用小物入れ、パキスタン刺繍の入ったワンピース、クリスマスデコレーションなど



です。市場にのる商品ができれば量産し、女性たちの収入に繋がる働きにしたいと考えています。

識字教室は、現在生徒がいません。以前は裁縫教室に来る生徒の一部が学んでいたのですが、現在の生徒は、文字を学ぶことよりも、手に技術をつけることに興味があるようです。

村を訪問し、健康教育や相談を行っています。パキスタンでは、高血圧、心疾患、糖尿病などの生活習慣病が、大きな問題になっていますが、予防や治療のための情報が行き渡っていません。

### 産後の母子家庭訪問を開始

パキスタンの乳児死亡率は67/1000 live birthで、南アジア9カ国中最も高く、世界では第6位の数字です。(2017 World population Data Sheet) 乳幼児の低栄養の問題も深刻です。このような背景の中、2018年から、産後の母子の家庭訪問を始めました。出産直後から、子どもが1歳になるまで定期的に家庭訪問し、フォローアップして行きます。

これらの働きが、人々の益となることを願っています。



当機構は今後もパキスタンの女性たちの自立を助ける活動を応援します。支援は、郵便振込にて「パキスタン女性病院支援」と明記の上、募金をお願い致します。



九州北部水害の被災地域である朝倉市杷木町にある4つの小学校が閉校となるにあたり、その4つの小学校と近隣の4つの保育園の生徒や保護者を励ますイベントが、2018年3月18日と19日に行われました。杷木町林田仮設団地の管理者伊藤さんから、九州キリスト災害支援センター（以下、九キ災）にこの企画の依頼があり、当機構も復興支援として皆様からの募金を用いさせていただきました。

## 九州北部水害復興応援イベント ～あたらしい明日へ～



水害被災者に寄り添い続けた九キ災の活動を通じて、地元の町とも強い絆が生まれる

九キ災は昨年7月の九州北部水害被災者支援のために、大分県日田市をベースに3ヵ月間泥だしボランティアの派遣を行い、その後11月頃から朝倉市杷木町の林田仮設団地の集会所などでほぼ月に一度ゴスペルシンガーの慰問コンサートを行っていました。このコンサートが好評であったことから九キ災に依頼がきたものです。コンサートは2カ所で行われました。

### 3月18日18時／大人向けのコンサート

会場：杷木町「らくゆう館」

出演者：矢崎風花、大分のグレースゴスペルクワイヤー（リーダー：藤浪恵）＆キッズクワイヤー  
こじまいづみ（花＊花）

来場者数：約60名

会場費は復興支援コンサートということで、地域のコミュニティで支払ってくださるということになって、会場費は無料になりました。

#### 《来場者の声》

#### 閉校する学校で素敵な思い出に

素敵なコンサートでした。次の日は閉校式という事でしたが、閉校式をその学校の体育館でするために、地域のみなさんで泥をかきだしたりして、きれいにしたというニュースを見たばかりでした。閉校式はたくさんの人のいろいろな思いがあったと思います。素敵なコンサートに行く機会を与えてくださり、ほんとうにありがとうございました。ただ、もっとたくさんの

方に聞いてもらえたらよかったと思いました。

### 3月19日13時／子ども向けのコンサート

会場：杷木小学校体育館

出演者：チンドン屋、元気くん体操 by グリーンコープ、矢崎風花

JAL折り紙ヒコーキ（休憩中）

クラウンサーカス大道芸、こじまいづみ＆高田志麻

来場者数：杷木小学校の生徒124名と杷木保育園の園児約50名。保護者と学校職員の方々30名、合計約200名が来られていました。

#### 《来場者の声》

#### やがて子どもたちが大人になった時に

自分の小学校が閉校するということに、特に何も寂しさを感じないという子たちもいましたが、大人になって母校のない寂しさを知るかもしれません。しかし、その寂しさと同時に、閉校式の時に音楽や大道芸や紙飛行機など、たくさんの方々が励ましてくれたのだと気づくと思います。



九キ災では今後も地域教会と被災者とをつなぐ役割を果たすことを願って、林田仮設住宅や被災地レストランなどで心のケアとしてのコンサート、林田仮設団地で、甘木聖書バプテスト教会のクワイヤー「ヘブンリー・ドロップス」による、一緒に歌う会などを行う予定です。日本国際飢餓対策機構を通じてのあたたかい応援を感謝申し上げます。

（報告：九州キリスト災害支援センター）





# フィリピン・バルナバプロジェクト

## バービン小学校図書館 建設現場を訪問

今回で5回目の訪問となる大阪シオン教会のバルナバプロジェクトに同行し、国際飢餓対策機構フィリピン（FHP）の支援地域であるビコール地区スラに5日間滞在しました。今回は、バルナバプロジェクトの支援で進められているバービン小学校の図書館建設の様子を見させていただきました。全校生徒228名と先生や行政区の長から歓迎会をして頂き、子どもたちとの交流、スラの現状や問題などを学ぶ時となりました。またチャイルドサポーターの支援を受けている子どもを含め7家族を訪問しました。バルナバプロジェクトの参加者の中から2名の感想です。（同行・チャイルドサポーター事務局 加藤新）



## 本を読んで知識を得て貧困を乗り越えてほしい



### 子どもたちの夢が聞けた

笹島百合さん

スラに行くまでは、ひどいイメージを持っていましたが、実際にスラに着くと良いイメージに変わりました。衛生面的にはさまざまな問題を抱えていることはありますが、スラの人々の雰囲気やコミュニティがしっかり形成されているところなど励まれている姿が見られて良かったです。

私を感じた問題点は3つありま

す。1つ目は衛生面。特にトイレについて。家庭訪問した際にどの家庭もトイレが必要とおっしゃっていたこと。2つ目は、子どもたちの学力向上のための本の必要。3つ目は、進学できるよう支援が必要だと感じました。進学できずマニラに出稼ぎに行くという話を聞いて問題だと感じました。他にも様々に問題があると思いますが、私たちにできることはやはり図書館を提供して、子どもたちがそこで本を読み知識を得て、貧困からでることができるようになることではないかと考えます。

もっとも印象的だったのは子どもたちが積極的だったところです。私の名札を見ると、すぐに近付いてきて名前を呼んでくれてストレートに接してくれたことが嬉しかったです。子どもたちとは、夢

について話しました。大統領、シェフ、ファッションデザイナー、漁師などみんな色々な夢を持っていました。あと、音楽は結構知っているようでアーティストの話をしたり、ルービックキューブを全面揃えて披露してくれたりしました。

### 子どもの積極性に驚く

青木俊介さん

貧しい生活を送っていても、みんな明るく楽しそうに生活している感じがした。着いた瞬間、すぐに子どもたちが僕たちのところに来てくれたので、びっくりしたし嬉しかった。さっそく子どもたちとの話は僕が英語でたくさん喋ることができなかったけどジャンケンをして遊んだ。コミュニティの人々から野菜を食べられない話を聞いたので、野菜を提供できたらいいなあと考えられた。



左から二人目に青木さん、右に...



図書館の建設現場



▲バービン小学校での歓迎セレモニー、子どもたち





## スラの人たちが 改善したいこと

スラの人口は約1600人。90%の人たちが漁業から収入を得ています。大小さまざまな魚と小エビを漁獲し、そのうち小魚と小エビは天日干しにして近隣の町に売りに行っていますが、天候に左右される仕事で収入が不安定です。現在スラの人たちが改善していきたいと願っていることがいくつかあります。

1. 全世帯の家にトイレが設置されること。現在の設置率は50%に留まっている。フィリピン政府が便器を提供してくれるが、トイレの壁などの材料費や、穴を掘る工事費用は自己負担のため困難を伴う。
2. プラスティックやビニールなど土に帰らないゴミの処理。現在は生ゴミとプラスチックの分別に取り組み、生ごみは穴を掘って埋めている。土に帰らないゴミを近隣の町ビンソンに運搬することなど、自分

## 小さな種の支援が

## 少しずつ成長して実を結ぶ

たちで続けてできる処理方法を模索している。

3. 土地が海食されているため、住むための土地が減少。政府によって沿岸に400mの防波堤を設置することができたが、あと100m延長したい。
4. 栄養状態の改善。井戸水に塩分が含まれているため、飲み水は購入する必要がある、経済的な負担になっている。この井戸水では野菜を栽培することができないために魚とご飯だけの野菜不足の食事により栄養が偏っている。それが原因で子どもたちの成長に影響し、国内の子どもの平均体重を下回っている。

これらの問題の一つ一つを、地域の人々とFH、政府関係者が一緒に話し合い、それぞれができることで協力をして解決のために努力をしています。今回5年ぶりのスラ訪問でしたが、前回より現地の人たちの表情が明るく、自信をもって働いている姿や、子どもたちの成長を見ることができました。「わたしから始める」小さな支援が実を結び、現地の人たちの希望となっていることを実感することができました。

(加藤)

当機構は、子どもや子どもが暮らす地域での活動を支援するチャイルドサポーターを求めています。



右端は当機構評議員の安達氏（大阪シオン教会牧師）



▲スラでの家庭訪問。後列右から2番目に加藤スタッフ



ちのダンス披露があり、一緒にゲームもしました

## 大阪シオン教会

## 私たちも応援したい！

★大阪シオンチャーチには一人のフィリピン人のクリスチャンがいます。彼女が教会のこの活動のことをフィリピン人の友人に話したところ、私たちも応援したい、と4人の方が家族と一緒に教会に来るようになり、この活動に協力してくださっています。



「バルナバプロジェクトに参加していることは私たちの誇りです。このような活動をしている大阪シオン教会の一員になれたことも誇りに思っています」





▲黒坂スタッフ

## 99村にスタッフを派遣し、地域リーダーを励ましながら コミュニティ開発プログラムを実施

スバイルー地区のあるシエムリアップ州には有名なアンコールワット遺跡があります。しかし政府によるとこの州、特にスバイルー地区はカンボジアでも最も開発が遅れている地域だということです。FHカンボジアは、スバイルー地区をはじめ北部地域にある99村に190人のスタッフを派遣して地域のリーダーたちを励まし、指導し、両親と子どもたちが自主的に生活の改善をしていくことができるようにコミュニティ開発プログラムを行っています。

### 貯蓄支援 Tropeang Russia村

5グループのうち3グループの方々が集まってくださり、「このグループに参加した事で多くの人と交わる事ができ孤独から解放された」「子どもに良い教育を受けさせる事ができて嬉しい」「病気になった時に病院に行く事ができる」と笑顔で話してくださいました。

### 水供給プロジェクト Beong Mealea地区

慢性的に水不足に悩まされて

いた4つの村(Beong Mealea、Toek Lich、Trapeang Russie、Sakkada)の人々が話し合い、水供給について行政担当者に持ちかけましたが断られました。その後FHカンボジアと共に水源調査してKulen山を見つけ、各村から10人ずつの働き手と1家族10ドルの出資を決めました。7km先の水源Kulen山からパイプを繋ぎ、4つの水溜タンクを作る計画のうち、3つまで完成しました。しかし、資金が乏しくなって来たことと重い資材を担いで7kmの道のりは健康な男性でも1日1往復がやっとで、作業に出てくるのを渋る人も出て来た事が悩みだと言うことです。今後は働き手を励まし、粘り強く行政に財的支援を働きかけながら、4つの村の人々に十分水が行き渡るまで活動を続けるとの決意を新たにしています。

### 子どもクラブ Chan Hear地区

50人程の子どもたちが集まり、マンゴの木を一緒に植樹しまし



た。将来の夢は、医者や先生、警察官などと言い、子どもたちが希望を持って成長している事を感じました。

### 障がい者の店 Teuk Lich地区

地雷によって足などに傷害を持ち、農作業等の仕事ができない方々のために始められたお店で今は45人のメンバーがいます。メンバーは、このお店のおかげで皆が笑顔を取り戻し、今は店をもっと大きくし沢山の人を助けたいと願っています。

### スタッフとの強い信頼関係

今回の視察で驚いた事は、FHスタッフが毎日全てのコミュニティ（最長往復100km）を巡回していることです。平坦な道ばかりでなく、雨期には過酷な道路状況となる中を回っているそうです。それ故、FHスタッフと人々との信頼関係が非常に強いということを感じました。またコミュニティのリーダーたちが自立的にファシリテーターとして活躍しており、FHの活動の成果が見られました。

(愛知事務所・黒坂栄司)



▲水供給プロジェクト



### WorldSeed ダブルスマイル サンタとは？

クリスマスイブの夜に大阪府内の子どもがいるご家庭を対象に、大学生～社会人のボランティアスタッフが事前に親御さんからプレゼントを預かり、サンタクロースの恰好してお届けします。その「お届け料」に対してチャリティーをいただき、国際協力団体に募金されます。



(ダブルスマイルサンタのHPより)

## 飢餓問題との関わり

私が世界の飢餓問題に本気で関わりを持ち始めた一番大きなきっかけは、1987年に韓国の教会で見たホームレス支援活動でした。教会に大きな窯があって教会員がそれぞれ自分の家からお米を少しずつ持ち寄ってそこに入れ、それで毎日500食を作って貧しい人々に提供するという活動をしていました。

そこで、その時から我が家でも1週に1日家族5人で断食をして、それをささげることをはじめました。最初はお米を貯めて福祉施設に持って行っておりましたが、お米は長く置くと劣化してくるので思案しておりましたところ、以前教会で親しくさせて戴いていた方が東京大学を卒業後、日本国際飢餓対策機構からエチオピアに行かれることになりました。

それから断食分を飢餓対策機構へ募金として送ることにしました。今3人の子どもたちはそれぞれ成人して関東に行ってしまいましたが、彼等が旅立つ日までは断食募金を続けました。今では夫婦2人ですが、これからもずっと続けていくつもりです。

また、1998年鹿児島で世界食料デー大会が始まりました。それをきっかけに来られた講師の方をお願いして、わが町の6つの小学校を回って飢餓の現状をお話して頂けるようになりました。講師の先生方には1日に数校を回って頂き大変だったと思います。

しかし、そのうちに講師の方と学校の授業時間との調整が難しくなり、私が自分で飢餓に関する学びをして幼稚園、小学校、中学校等で出前授業をさせていただくようになりました。



た。その活動を今も続けております。

お話の後の子どもたちの感想文には、自分たちがいかに恵まれた環境にいて、どれ程贅沢な生活をし、無駄なことをしているかを知り、飢餓の人々に申し訳ないと、自分の生活を見直したいと書いている人がたくさんいます。また、無縁だった募金を積極的に行っていききたいとの感想もたくさん頂きました。

日本でも戦後、アメリカをはじめ沢山の国々から支援をいただき貧しい中、学校給食が始まり助けられました。今私たちにできることをやっていきたいと思っています。



### ハンガーゼロ実現のための新たな取り組み 「ハンガーゼロ・パートナーズ」 世界を変える担い手を募集します！

#### 「ハンガーゼロ・アンバサダー」の主な役割

- 教会・学校の訪問
- 講演・報告活動
- 企業訪問（啓発と支援要請）等

#### 「ハンガーゼロ・パートナー」の主な役割

- 募金活動（チャリティイベント等の企画）
- 広報活動（SNSによる発信と支援ネットワークの構築）
- プロボノ（職業等で培われた技術を提供する  
例：デザイン、写真、動画編集、翻訳、イベント運営他）等

「アンバサダー」は当機構からの任命、「パートナー」は面談などの諸手続きを経た上で決定させていただきます。お問い合わせは、東京事務所又は、[tokyo@jifh.org](mailto:tokyo@jifh.org)までご連絡ください。

日本国際飢餓対策機構親善大使

紫園 香さん

デビュー35周年記念

フルートリサイタル

5月23日(水) 午後7時開演

東京文化会館小ホール

4,500円(全席自由)

共演 ピアノ…………… 藤井一興  
クラリネット …… 柳瀬 洋



【紫園 香 SION KAORI / フルート】

フルート奏者・音楽伝道師。天から降りそそぐフルートの音色は、聞く人の心を開き、いのちの風を吹きこむ。東京芸大・同大学院首席卒業、フルートの巨匠モイーズの薫陶を受けマスターコース最優秀修了。第7回万里の長城杯国際コンクール等多数入賞、国際文化交流基金、外務省他で世界20ヵ国から招聘。御前演奏者でもある一流の技術をもちいて世界中に、フルートを通して福音を届け続けている。現在、日本クラシック・コンクール審査員。東京バプテスト神学校教会音楽科、ユーオーディア・アカデミー、ムラマツ・フルート・レッスンセンター、各講師。

ケニアコイノニア教育センター特別講師。

日本国際飢餓対策機構親善大使。

キリスト品川教会音楽伝道師。曲集、著書「愛の風がきこえる」、CD1枚発売中。公式サイト <https://sionkaori.com>

当日会場で募金コーナーが設置されます。お問い合わせはJIFH東京事務所Tel.03-3518-0781まで





日本国際飢餓対策機構(Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20カ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするために、ひばの障害者作業所(八尾市)、生活愛、関西地区のボランティアの皆様が発送作業の協力をして下さっています。

## ノクシカタのポシェット

～バングラデシュ伝統手工芸品～

ちょっとのお出かけに便利なサイズです。バングラデシュの地方に暮らす女性の生活向上を目的としたフェアトレード商品です。

刺繍は片面のみ

巾約17cm 高さ約22cm

1つ2,500円 送料日本全国400円

色: 黒、きなり(色をご指定ください)

●チャイルドサポーターの方は送料無料(会員番号をお知らせください)

収益の一部をJIFHの活動に寄付させていただきます。

【お支払いは後払い】

郵便局払込で(株)キングダムビジネス口座へ。

【問合せ】キングダムビジネス

〒540-0026 大阪市中央区本町1-4-12 NPOビル402

TEL:06-6755-4877 FAX:06-6755-4888

8月17～27日(11日間)

## ウガンダサマーキャンプ

お早めにお申し込みください!!

～お問い合わせが増えております～

現地では貧困から自立に取り組む方のお話を聞いたり、子どもたちの家庭訪問や楽しい交流プログラムを持ちます。サファリ訪問も予定。

募集人数: 11名(高校生以上)

費用: 335,000円(6/10までは33万円)

※上記以外に空港使用料・税・燃油サーチャージなど要。

お申し込みは、JIFH 東京 03-3518-0781

## ★書き損じ「はがき」「未使用切手」で国際貢献ができます!

郵便局で発売された「はがき」(年賀状も含む)で書き損じたものでポストに未投函のもの、また未使用切手などがありましたら大阪事務所までお送りください。国内外の通信費の節約のために使わせていただきます。

## ♪ケニア・ケントン国際学校コンサート

やまと西和ロータリークラブが国際交流イベント

3月28日にやまと西和ロータリークラブ主催の「ケントンインターナショナルスクール・コンサート」を奈良県王寺町やわらぎ会館にて開催されました。ケントンインターナショナルスクールはケニアの首都ナイロビにあるイギリス式インターナショナルスクールです。今回の来日には12歳から13歳のインドの子どもたちやケニアの子どもたち、先生、保護者を含め30名が来ました。コンサートはバイオリン、ハーブ、チェロ、トランペットなどの楽器の演奏スワヒリの歌やインドの踊りなど充実したコンサートでした。



また、アフリカダンスを来場者と一緒に踊りました。来場者の人たちと楽しいひとときを過ごしました。当機構も様々な応援をいただいている同クラブの国際交流イベントに協力させていただくことができ感謝です。

## ハンガーゼロサポーターを大募集中!!

現在までに  
4470口

## 今すぐ▶▶▶各種支援のお申し込みができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類等を送らせていただきます。お電話でも申し込みできます。各事務所までおかけ下さい。

- ☐ ハンガーゼロサポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口1,000円)
- ☐ チャイルドサポーター(子ども1人4,000円)になりたいので説明書(申込書)を送ってください。
- ☐ 海外スタッフサポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口1,000円)
- ☐ JIFHサポーターとして協力します。  
毎月( )口 (1口500円)
- ☐ 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- ☐ その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

フリガナ 氏名: \_\_\_\_\_ 男・女

〒 \_\_\_\_\_

フリガナ 住所: \_\_\_\_\_

..... (電話) .....

▼申込日: \_\_\_\_\_ 年 月 日 ▼NL 334号

**FAX・072-920-2155**

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.jifh.org/>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック <https://www.facebook.com/hungerzero>

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト

●郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構

●他の金融機関からの自動振替 ●クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

(広島) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OOCビル517号室

(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782

愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田 2-19-16 千代田ビル3F

TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米 202号

TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216

U S A Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa

8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605

TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



JIFH



チャイルドサポーター

「かざして募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

★Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに546818ポイント(円)のご協力(5672件)がありました。募金はTポイント募金で検索